

## チャレンジ項目記入数 21

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念を明文化し、ミーティングルームに掲示している。 ・朝礼で経営理念を唱和し社員に浸透させている。								8	9								17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守について規定とマニュアルがあり、職場に掲示し法令遵守の重要性を全従業員に向けて発信している。																	16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努め、全従業員に向け、その重要性を発信している。 (公財)熊本県暴力追放運動推進センターの賛助会員として不正競争防止に取り組んでいる。										10							16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・地域未来牽引企業として、ボランティア活動などの地域社会に貢献する活動を実施している。 ・GAP認証担当者・エコアクション21担当者を配置し、環境に悪影響を及ぼさないよう持続可能な資源循環型経営に取り組んでいる。																	16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産の保護について勉強会を実施している。 ・自社製品やサービスにおいて特許取得や商標登録を行っている。							8.2 8.3	9									16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報保護方針を定めている ・情報セキュリティ対策チェックリストを活用し、個人情報を適切に管理し、情報漏洩防止に取り組んでいる。																	16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・大学との共同研究を実施し、桑や冬虫夏草などの機能性を生かした付加価値の高い商品開発に取り組み、顧客満足度の向上に取り組んでいる。																16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・法令や社会規範を遵守し、調達においては特に環境面に配慮するよう意識の共有をしている。				5			8		10		12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●									9		11		13.1							16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・2018年に事業継承し代表交代を実施済である。 ・後継者の育成のため、顧問税理士や商工会からアドバイスを受けセミナーに参加している。						8	9											17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●		・社員の休憩時の飲料や、来客の際に提供する飲料等にフェアトレード商品を購入している。	1	2		5			8				12	13	14	15	16	17			
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件や職場環境において差別のないよう、差別やハラスメントに関する研修を実施し、相談窓口を設けている。			4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全衛生責任者を選任し救命講習を受講している。 ・毎朝の朝礼ではKY活動を実施し業務中の事故防止に取り組んでいる。		3						8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		同一労働同一賃金の原則に沿って、従業員の公正な待遇を行っている。				5.5			8.5		10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・労働基準法を遵守し、36協定に即した公正な対応を行っており、業務効率化による労働時間短縮など働き方改革にも取り組んでいる。		3		5.5			8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・社員のスキルアップのために各種資格の取得を推奨している。 ・社員の各種資格取得に関する費用を全額負担している。			4	5.5			8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・毎年実施している従業員の健康診断の費用を会社で全額負担している。 ・従業員は積極的に自転車通勤を実施するなど健康維持に取り組んでいる。		3					8										17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・外国人技能者及び障がい者や高齢者を雇用し、作業効率を考慮した働きやすい環境を整備している。			4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェーブ会議等を導入している。	●		・オンライン会議やセミナー受講などを積極的に取り入れている。		3					8	9.1		11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・クラウド型の会計ソフトを採用し見積提案から請求までオンライン化に対応している。データバックアップもクラウド型を採用している。						8	9.1		11	12									
	21	【プライム企業】 ・プライム企業に認定されている。	●					3	4				8	9			12							

## チャレンジ項目記入数 21

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・GAP認証、エコアクション21を取得しており、廃棄物や化学物質の適切な管理や処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・エコアクション21に準じて電力やエネルギー使用量を毎月記録し、年間使用量を把握することで翌年の使用量削減につながるよう取り組んでいる。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・エコアクション21に準じて温室効果ガス排出量を毎月記録し、年間使用量を把握することで翌年の使用量削減につながるよう取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・GAP認証基準に沿って、農薬や化学肥料は不使用である。 ・GAP認証基準に沿って、自社活動が環境や生態系等に悪影響を及ぼさないように取り組んでいる。						6.6							14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・造園緑化事業で発生した剪定枝で炭・木酢液・土壌改良剤を生産し、チップ化した樹木も堆肥として再生利用をしている。									9.4			12.2 12.4 12.5	14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・GAP認証基準に沿って、定期的に水質検査を実施している。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.5				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・エコアクション21を取得している。 ・再生紙利用を推進するなどエコアクション21に準じて事務用品のグリーン購入に取り組んでいる。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・商工会を通じてこども食堂への食品提供を実施しフードドライブ活動を推進している。	1	2				6.4					12.3		14	15		17		
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・造園緑化事業において、植物によるCO2吸収量増加に努めている。 ・熊本県造園組合連合会の緑化推進運動に参加している。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		・社内の蛍光灯は全てLEDを使用し節電に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・造園緑化事業では樹木伐採業務による森林整備に貢献し、剪定枝を炭や土壤改良剤へ再生利用している。食品事業においては耕作放棄地を桑園として活用しGAP認定を取得している。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・合志市内の耕作放棄地に桑を植栽しGAP認証農場として有効活用をしている。							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・商品試食販売の際に使用するスプーンや皿などをプラスチック製から紙製へ切り替えている。 ・レジ袋はバイオマスレジ袋を使用している。												12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・社用車をガソリン車からハイブリッド車に移行し環境に優しい車の利用を促進している。 ・従業員は自ら積極的に自転車通勤を実施する割合が増加している。								9.4		11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

チャレンジ項目記入数 21

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・製品安全確保のため、定期的に品質検査や栄養分析を実施している。 ・GAP認証農場の土壌や水の検査を定期的に実施している。 ・機能性表示食品など付加価値の高い商品開発に取り組んでいる。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・機能性表示食品「健桑茶」において、ユニバーサルデザインである「どこでもカット」を採用している。スティック袋表面に全面微細孔加工を行いどこからでも簡単な開封が可能である。									9.1	10	11.7					17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		・自社トイレの内装には県産材を使用している。 ・木材を使用する際には県産材の積極的な利用に取り組んでいる。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●		・自社トイレの内装には県産材を使用している。 ・木材を使用する際には県産材の積極的な利用に取り組んでいる。					7						12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		・エコアクション21による環境経営システムを構築し、地球温暖化対策に取り組み、循環型社会の進展に寄与する活動を実施している。 ・地域社会の課題である耕作放棄地を桑園として有効活用している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●		・無菌周年養蚕システムを確立し、バイオテクノロジーから生まれる健康関連商品を開発している。 ・大学や行政機関と共同研究を実施し、付加価値の高い商品開発に取り組んでいる。また、合志市との連携により商品のPR動画を制作して積極的にWebで活用している。		2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15	17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・合志市商工会や熊本県造園組合連合会のボランティアや緑化推進運動など社会貢献活動に積極的に参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・非常時の水や食料を準備している。 ・災害に備えハザードマップを掲示し、従業員の防災意識向上に取り組んでいる。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		・GAP認証基準に沿って、選任者は救命講習を受講している。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●												9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		・社内でSDGsに関する研修を実施し、SDGsの普及啓発活動に取り組み、SDGsの意識が浸透している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		・地元の中高生の職場体験や大学生のインターンシップを積極的に受け入れている。				4					8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		・ハローワークの求人説明会に参加し地元の学生を積極的に採用している。 ・地域の子供達のスポーツクラブ等に協賛を行っている。				4.4					8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●		・地域の子どもが養蚕についての学習を行う際に桑の葉を提供したり、樹木に実る果実の収穫など農業体験を実施している。		2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15	17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。